

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	実験実習Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	0082		科目区分	専門 / コース必修		
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	商船学科		対象学年	4		
開設期	前期		週時間数	前期:4		
教科書/教材	テキスト配布					
担当教員	伊藤 友仁					
到達目標						
座学で身につけた知識を実験を通じて再確認するとともに、より理解を深める						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	実験実習で与えられた課題を完遂し、適切な報告書を提出することができる		実験実習で与えられた課題を実行し、報告書を提出することができる		実験実習で与えられた課題を遂行できず、報告書を提出することができない	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育目標 (B3) 海事技術者としての専門知識						
教育方法等						
概要	船舶運航者として必要な知識を、実験を通じてより理解する					
授業の進め方・方法	各実験担当教員の指示をしっかりと聞き、自分勝手な行動をとらないこと 実験には積極的に参加すること					
注意点	実験実習であるので、実験にすべて参加し、レポート等の提出物がすべて提出されて初めて評価の対象となる					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-1 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		課せられたテーマに沿って実験を行い、その成果を報告書にまとめる	
		2週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-2 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		3週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-3 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		4週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-4 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		5週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-5 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		6週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-6 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		7週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-7 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		8週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-8 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
	2ndQ	9週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-9 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		10週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-10 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		11週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-11 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		12週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-12 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		13週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-13 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		14週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-14 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		15週	(N) 載貨・航海計器・気象通信・航海法規・鳥羽丸・ECDIS-15 (E) 内燃・ボイラタービン・材料・補機・鳥羽丸		同上	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	